

グループワーク記録メモ - グループ2

テーマ1 まちの変化を確かめる - 無くなってしまったもの、新しく付け加わったもの

- ・ 防災への備えが大事になってきている。自分が住んでいるところ(19番)は築45年のマンションで、その理事をしているが、建物内の防災設備についてこれまでに一新させ、また今後は防災用の井戸を掘っていくことを計画しているところだ。
- ・ ここに移ってきて約10年であるが(住まいは同じく19番)、無くなってきたものとしては商店街のお店。また一方で、いいレストランなどが新しく出来たりしている。
- ・ 戦時中疎開はしたが、生まれてから85年間このまちに住んでいる。昔はこのあたりは敷地が100坪以上の住宅ばかりであったが、だんだん敷地が小さなお店が多くなっていった。自分のところも80坪ぐらいになった。
- ・ 昔は木造の住宅ばかりであったが、自分の住んでいるあたり(9番)は4階建てまでは建てられる地域であることから、4階建てが増えてきて、自分のところも4階建てにした。建物の一部は賃貸マンションにしている。
- ・ 若い人が増えてきていることに関係しているが、賃貸マンションの前の歩道のところなどは、自転車の放置が多くなってきている。また狭小道路も多いがそうしたものは解消して欲しい。
- ・ 望星高校の裏手のほう(31番)に住んでいる。無くなってきているものとしては(昔から住んでいる)人が減ってきていること。先日行ったお祭りも、よその地域に住んでいる人の参加を得て、何とか出来たという状況だった。
- ・ また今日のような地域での会合にあまり人が出てこなくなっている、というのも無くなってきつつあるものの1つ。こうしたことへの対応として、回覧板を回すのにもちょっとした工夫があればと思っている。例えばピンポンと玄関のチャイムを鳴らして、直接手渡しするようにするとか。フェイスツーフェイスでいかないと人は来ないのでは。
- ・ お店がこの地区からなくなっているというのは大きな問題。東海大学通りのセブンイレブンぐらいいし買い物出来る場所がない。この地区には移動スーパーが必要だと思っており、代々木上原駅前にあるスーパー丸正の移動販売車が来てくれればと思っている。

テーマ2 地域の資源を見つける - 将来、子どもたちにあるいは次世代に残したいもの

- ・ (1人の方が地域の資源は何と言っても東海大学だと言い、他3名の方もそれに同意)この地域における最大の資源は東海大学の施設や、学生・職員の人達である。
- ・ 東海大学を富ヶ谷2丁目のシンボルとして活かすことが大事。また地域におけるコミュニティの場としても活かすことが出来ればよい。

- ・ 東海大学が建替えを考えているという話は聞いているが、例えば新しくできるカフェテリアは外部の人も自由に出入りできたりすればよい。
- ・ 今日のパワーポイントで出ていた柵のないキャンパスはいい。あんな感じになれば良いのでは。
- ・ 地域にも開放する公開講座とかもあればいい。また上原中学校にあるような地域にも開放するプールなどもあればいい。
- ・ 昔東海大学が主催したパソコンスクールに通ったが、今でもその修了証を持っている。東海大学はまちの核となるようなものである。
- ・ 子供たちのために必要なものとしては、この地域には保育園が1つしかないので、もっと増えればいい。公園も必要。ロケット公園(富ヶ谷公園)では子供たちがよく遊んでいる。
- ・ 富ヶ谷2丁目とのキーワードを入れても、ネットで全くヒットしない。上原1丁目はたくさんヒットするのに。もっとヒットするようになっていく必要がある。